

20xx年度 第x回 新興再興感染症患者搬送訓練 訓練開始前事前説明スライド

20xx年x月xx日
DCC 国際太郎

症例

- ・ ○歳男性
- ・ X/XX-X/XX アラブ首長国連邦渡航
- ・ X/XX ラクダに接触。ラクダのミルクを飲み、体液を顔に浴びた。

- ・ X/XX 発症 発熱・咳
- ・ X/XX ●●病院受診、酸素需要なしも右肺野に湿潤影。
肺炎の疑いで入院。
SARS-COV-2 PCR 陰性、インフルエンザ陰性

- ・ ○○保健所△△様より搬送依頼あり

感染症法における感染症の分類

一類感染症 (7)	二類感染症 (7)	三類感染症 (5)	四類感染症 (44)
ウイルス性出血熱 エボラウイルス病 ラッサ熱 CCHF マールブルグ病 南米出血熱 ペスト 天然痘	結核 MERS SARS 鳥インフルエンザ (H5N1/H7N9) ポリオ ジフテリア	コレラ 腸チフス パラチフス 赤痢 出血性大腸菌	デング熱 ジカ熱 チクングニア熱 黄熱 A型肝炎 レジオネラ SFTS 狂犬病 etc...

コロナウイルス 感染症	かぜ	SARS (重症急性呼吸器症候群)	MERS (中東呼吸器症候群)	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)
原因ウイルス	ヒトコロナウイルス (229E, NL63, OC43, HKU1)	SARS コロナウイルス	MERS コロナウイルス	SARS-CoV-2
発生年	毎年	2002～2003年	2012年～	2019年12月～
流行地域	世界中	中国広東省	サウジアラビアなど アラビア半島	世界中に拡大
宿主動物	ヒト	キクガシラコウモリ	ヒトコブラクダ	不明
感染者数	かぜの原因の 10～30%を占める	8,098人 (終息)	2,494人 (2020年10月9日現在)	166,444,988人 (2021年5月22日現在)
致死率	極めて稀	9.4%	34.4%	2.1%
感染経路	咳などの飛沫、接触	咳などの飛沫、接触、便	咳などの飛沫、接触	咳などの飛沫、接触
感染力 (基本再生算数)	1人から多数	1人から2～5人 スーパースプレッダーから 多数への感染拡大あり	1人から1人未満 スーパースプレッダーから 多数への感染拡大あり	1人から2～3.5人 (doi: 10.1002/jmv.25748.)
潜伏期間	2～4日	2～10日	2～14日	1～14日
感染症法	なし	2類感染症	2類感染症	指定感染症

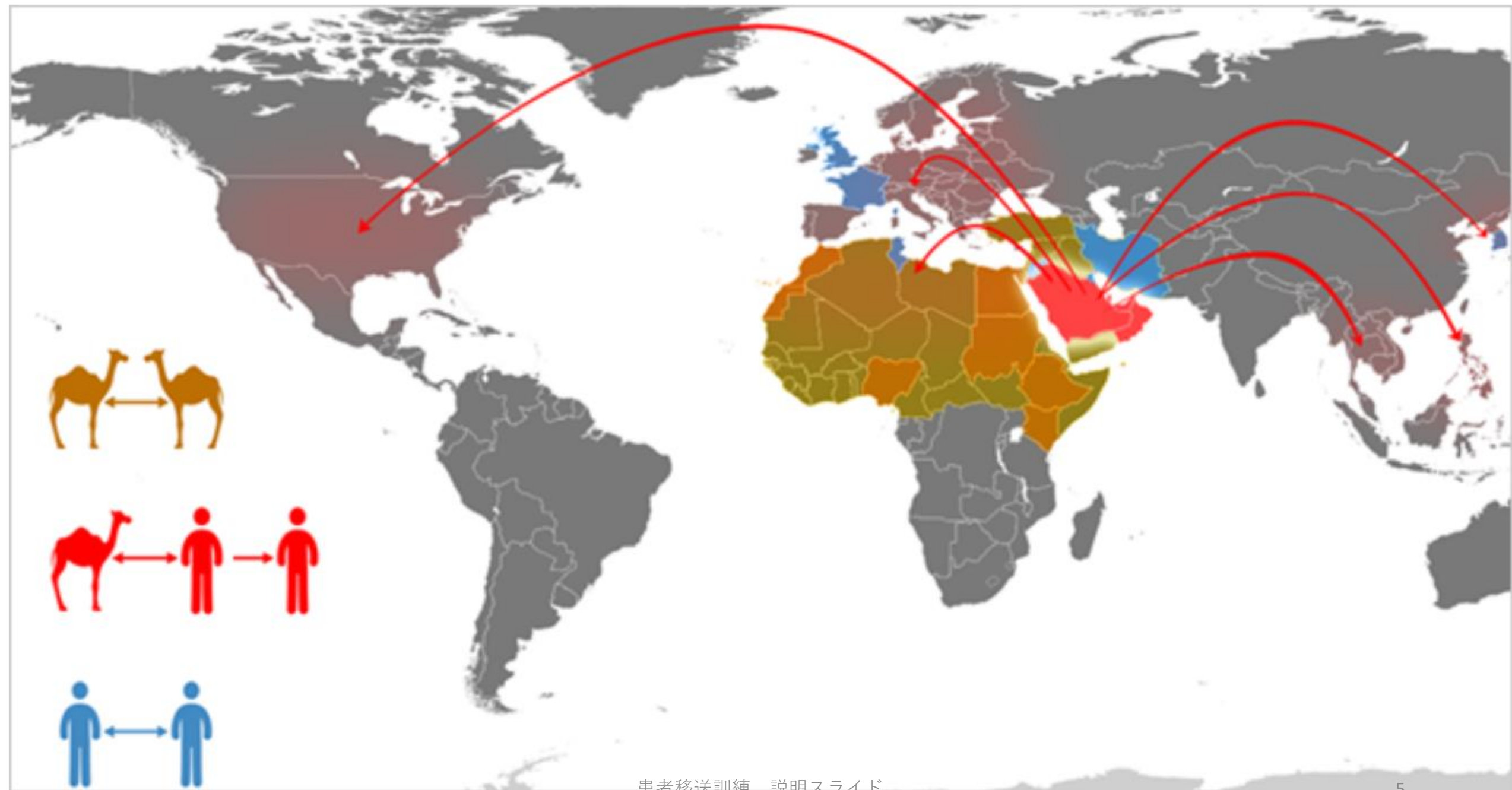


FIGURE 2

Simplified transmission diagram illustrating the superspreading events associated with Cases 1, 14, 16 and fourth-generation infections of MERS-CoV, South Korea, 11 May–19 June 2015 (n = 166)

Nosocomial spread of MERS in South Korea

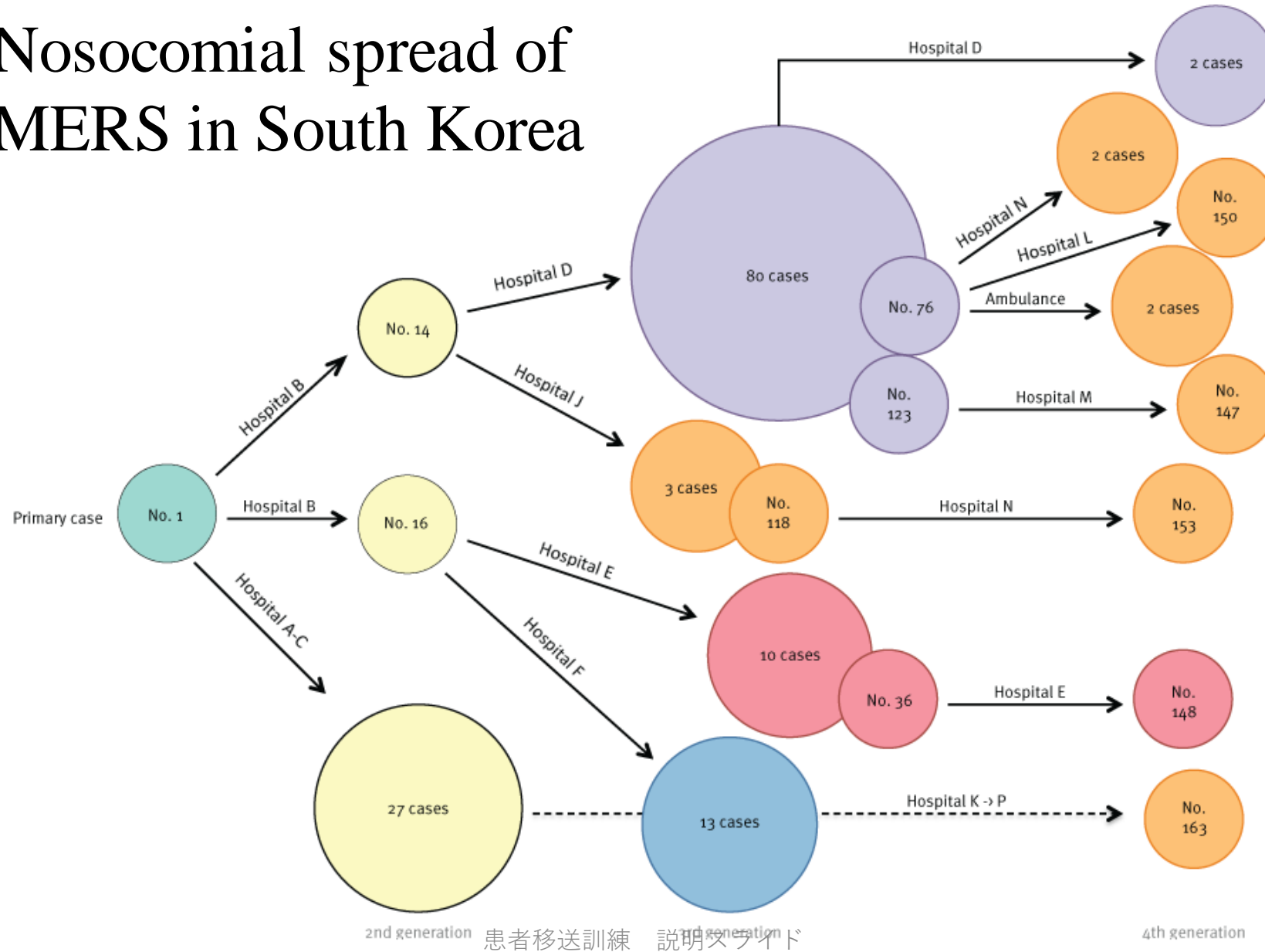
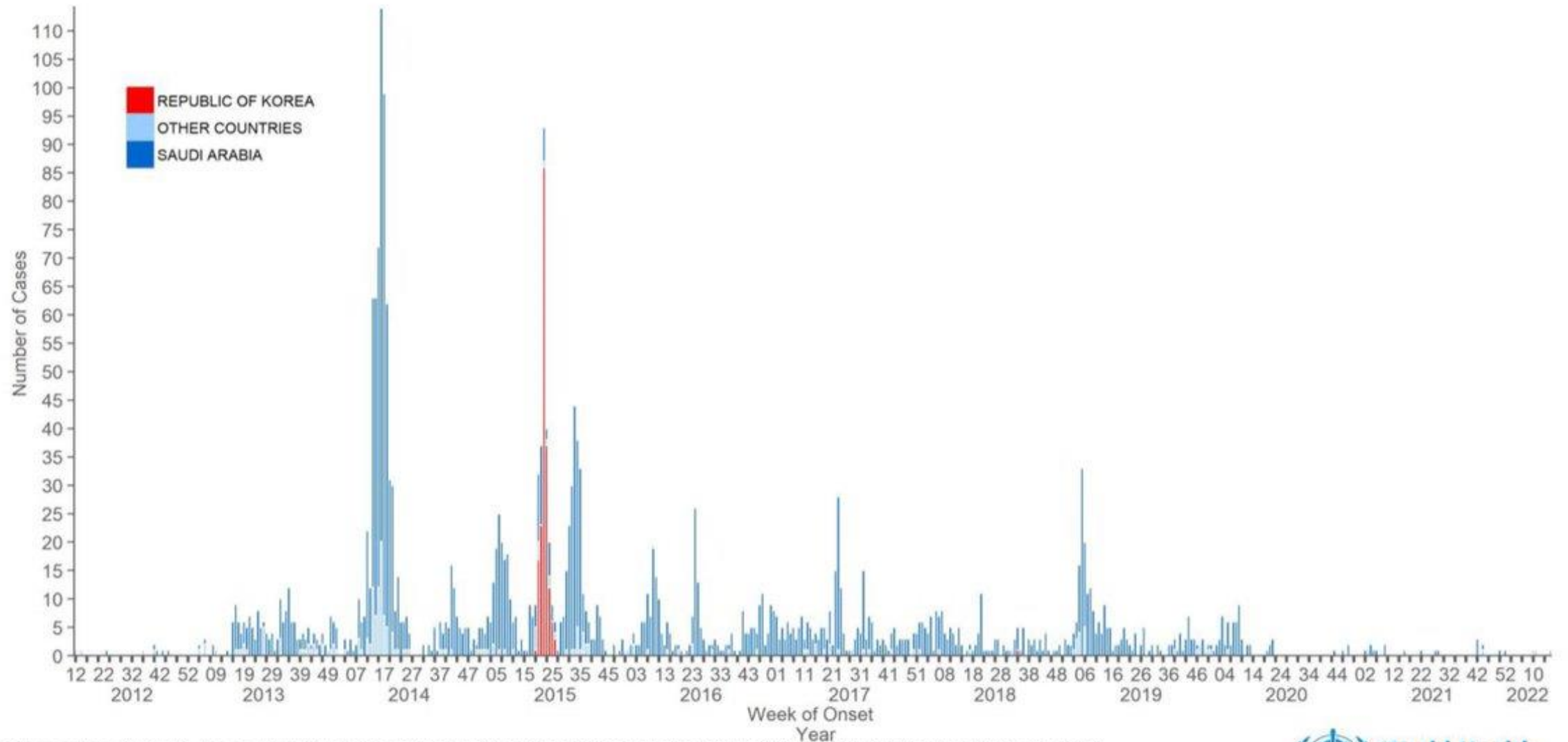


Figure 1. Confirmed MERS cases reported to WHO as of 17 October 2022 (N=2591*)



Other countries: AUSTRIA, Algeria, BAHRAIN, CHINA, EGYPT, FRANCE, GERMANY, GREECE, IRAN, ITALY, JORDAN, KUWAIT, LEBANON, MALAYSIA, NETHERLANDS, OMAN, PHILIPPINES, QATAR, THAILAND, TUNISIA, TÜRKIYE, UNITED ARAB EMIRATES, UNITED KINGDOM, USA, YEMEN
 Please note that the underlying data is subject to change as the investigations around cases are ongoing. Onset date estimated if not available.



今日の予定

<訓練想定>

- 38.5°Cの発熱及び咳を伴う 急性呼吸器症状を呈した患者が救急外来を受診。
- 画像初見で肺炎も認められた。
- 問診により、ドバイ帰り（2日前）で、滞在中ヒトコブラクダと濃厚接触していた事が判明。行政と連絡を取った結果、MERS疑似症例として扱う事になり入院となった。

<実施内容>

- アクションカードを用いた訓練
- 訓練以上のことを本番はできない
- 課題の抽出

国立国際医療研究センターにおける 国際的に脅威となる感染症の疑似症対応



MERS		
発生日	渡航地	診断名
20XX年X月XX日	XX	急性気管支炎 ※当院に直接受診
20XX年X月X日	XX	インフルエンザB ※当院に直接受診
20XX年X月X日	XX	<i>S. pyogenes</i> 肺炎・菌血症
20XX年X月X日	XX	急性上気道炎